

FulluP3

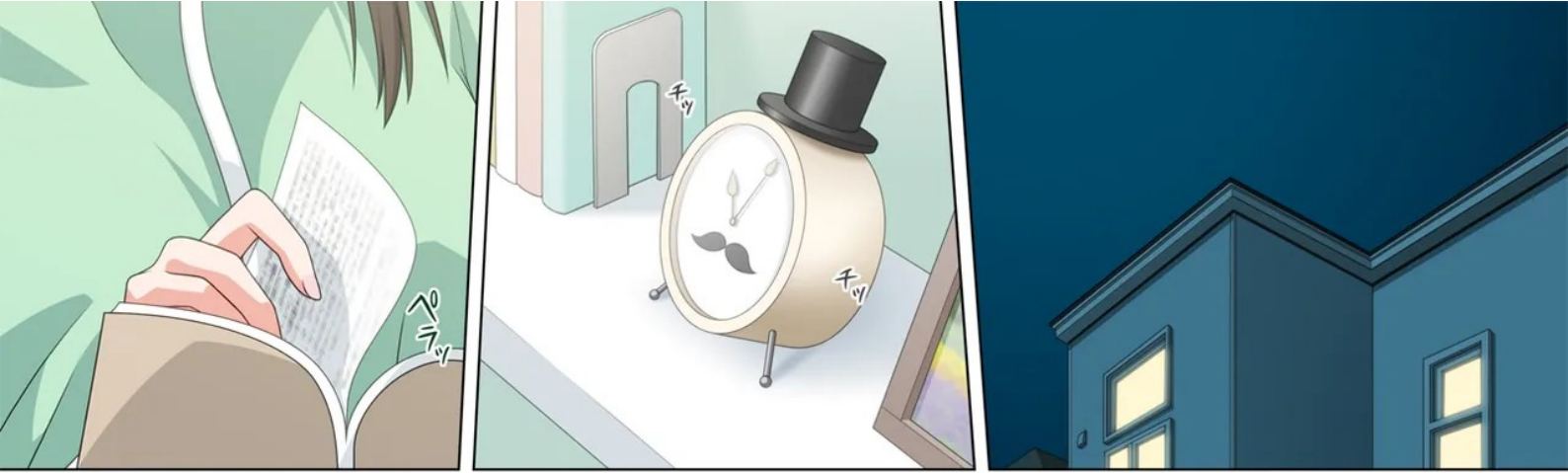
散らされた花びらは、やがて淫色に…。



染まり愛

ソマリアイ





夏休みが終わり
新学期がスタートして
二週間ほど経った9月

私は数日前から
身の周りで起きている
少し不可解なことに
悩まされていました

この日もいつものように
就寝前の読書をしていた
ときのこと……



野宮 香菜
のみや かな

こんな
時間にまた……？

誰だろう……

それは数日前から
夜遅くに頻繁に掛かってくる
非通知設定の着信でした



執拗に掛かってくる電話に
嫌気がさしていた私は

もしかしたら非通知設定になっている事に
気付いてないクラスメイトからの
着信という可能性を考え
不安を感じつつも電話に出てみました

ですが…

もしもし…?
あのどちら様
…ですか?

え…?

切れた…

何なの…?

いたずら電話?
気持ち悪い…
もう出ないようにしよう…

きつと
ほっとけばそのうち
飽きて収まるはず…

そう自分に言い聞かせて
みたものの…

耳にこびりついた
荒い息遣いに

私は得体の知らない
気味の悪さを
感じてました…

キーン

コーン

わい

わい

香菜ー

香菜ーっ

おーいっ

ねえ
香菜ってば！

！

…なんか
あった？

元気ない
みたいけど…

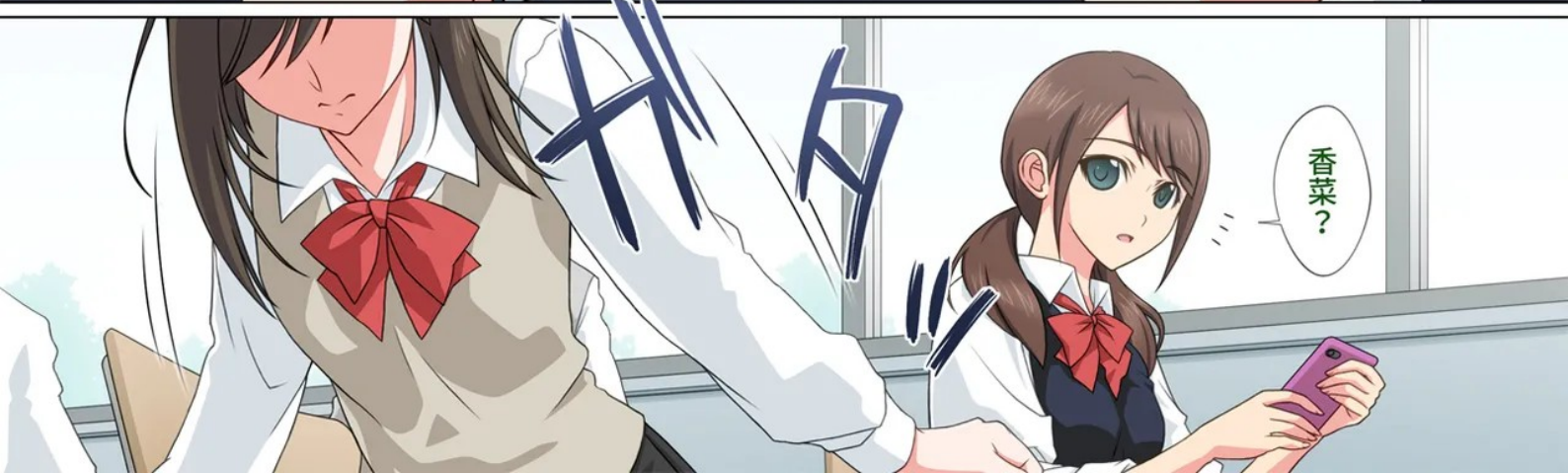
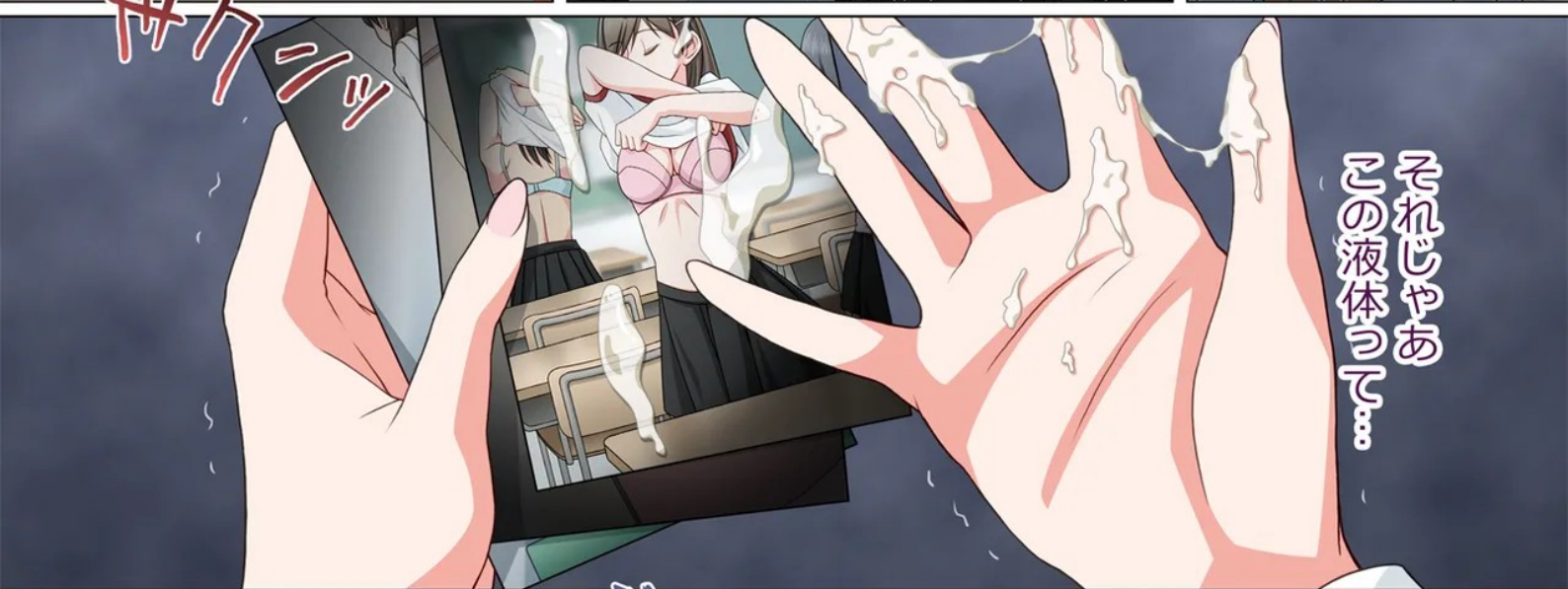
何回も
呼んでるのにー

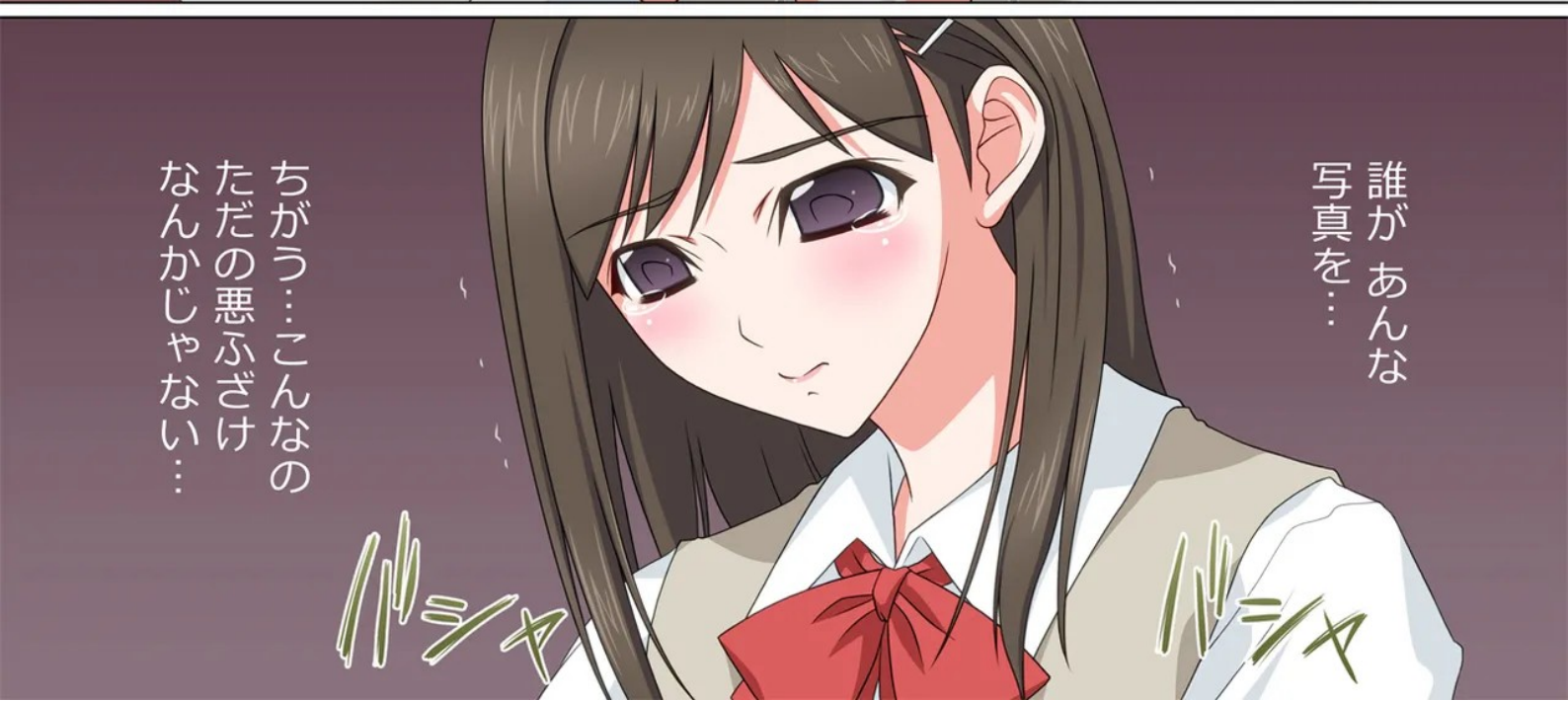
おはよう
じゃないよお

あ…おはよう









誰があんな
写真を…

ちがう…こんなの
ただの悪ふざけ
なんかじゃない…



職員室

隠し撮り写真？

誰かその…
写真を私の机に
入れたみたいで…

武田先生なら
朝教室で誰か
見てないかと

いや俺は
知らないなあ

…でその写真は
今持ってるのか？

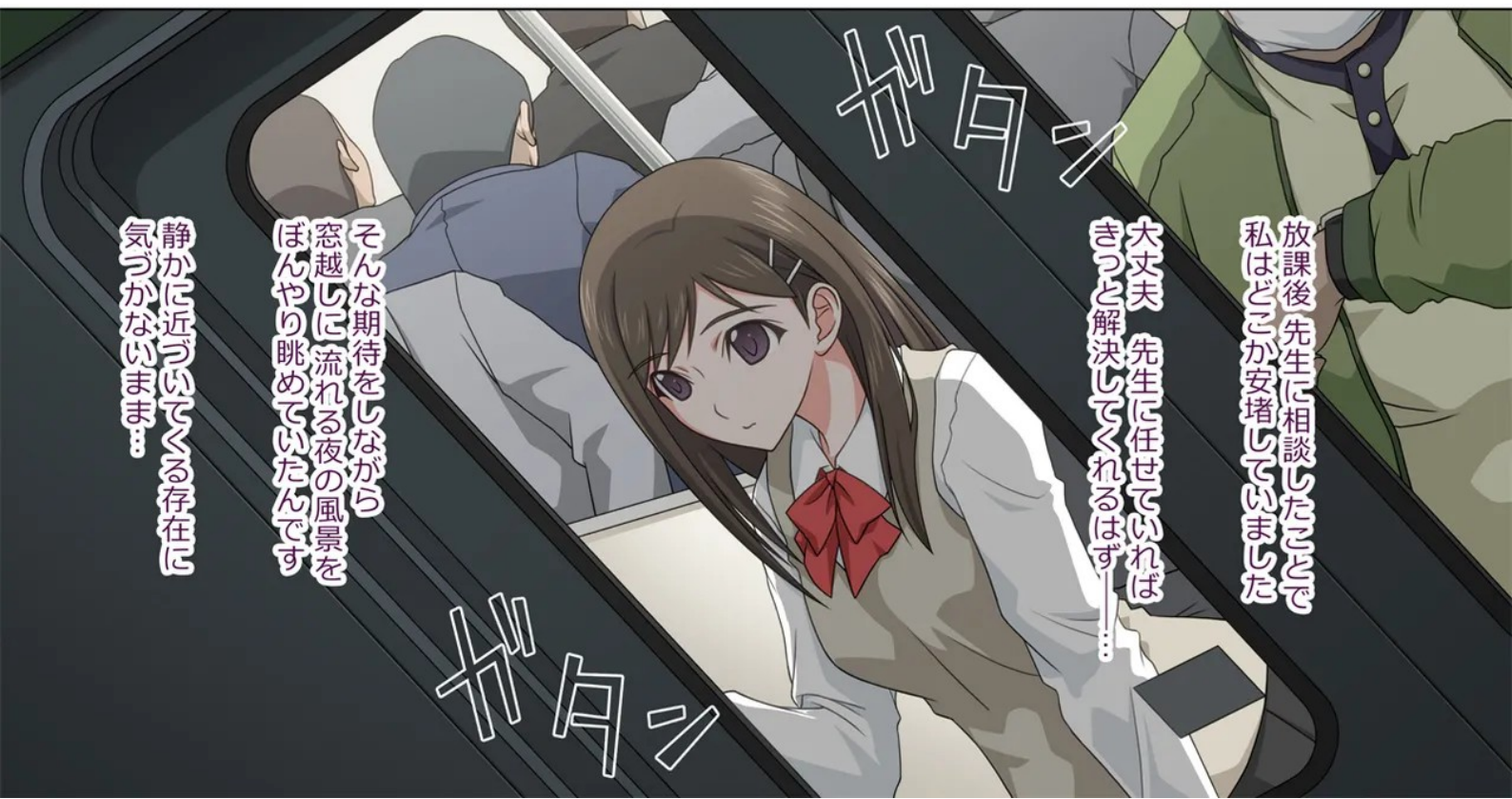
いえ…
気持ち悪くて
すぐ捨てました

すごく気味悪くて
私どうしたら
いいのか…

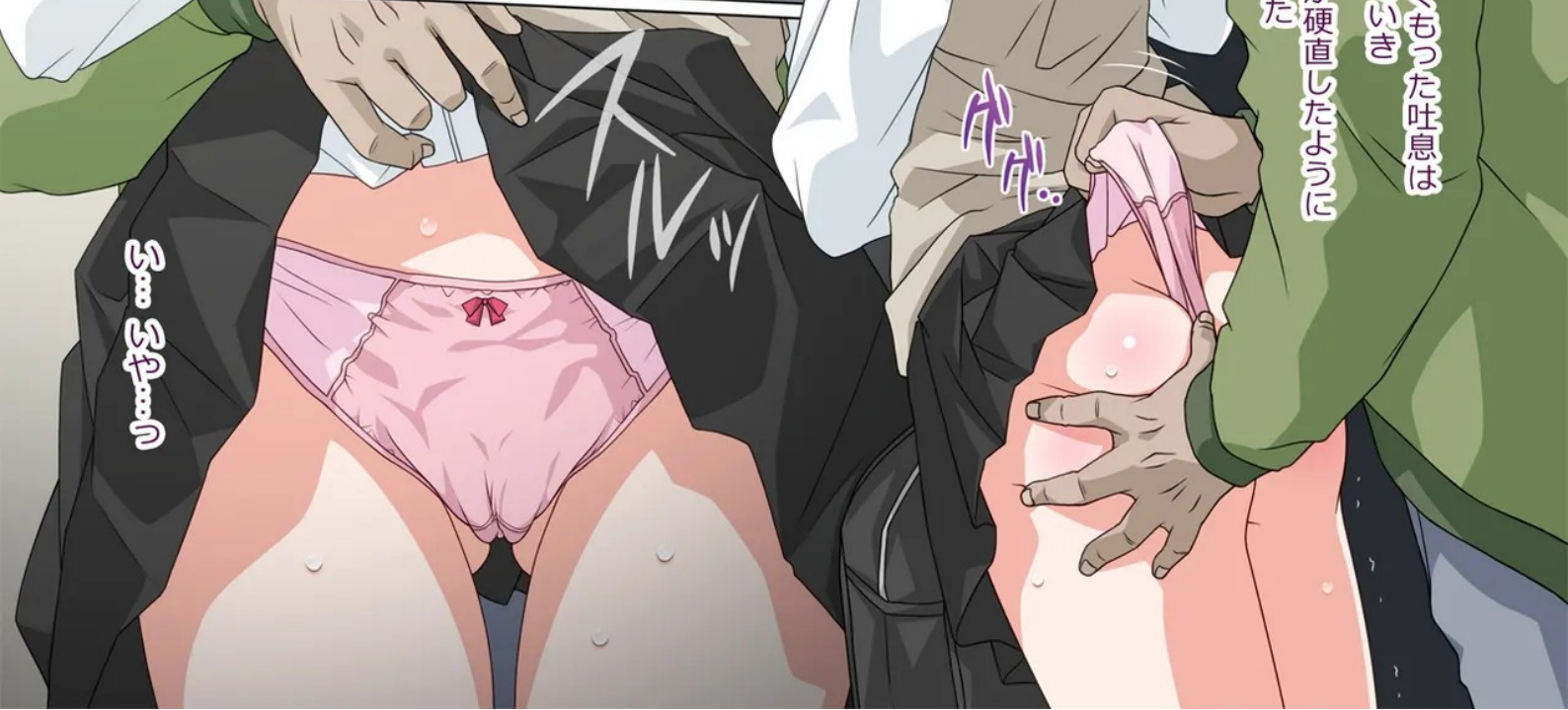
それに最近
毎晩のように変な電話も
掛かってきたり…

67% 23:07
非通知設定









すぐ背後に聞こえるくぐもった吐息は
次第に荒々しさを増していき
私は怖くて身体が硬直したように
動けなくなりました

Sam Saman



や...あつ

いや...
こんなの...

小柄な身体の
割には

ずいぶんと発育が
いいんだねえ

気持ち悪い...

んあつ

んくう!

んんっ

声出ちゃう...!!!

だ...ダメ...
そんなにしたら...

トロ...



ほら見てごらん
パンティ越しでも
こんなにヌルヌルだ

おとなしい顔して
いやらしいんだねえ

こんな場所でされて
お嬢ちゃんも興奮
したのかい？

んんっ!!



次の駅で降りて
トイレに連れ込もうかと
思ったが：気が変わった

今ここで犯して
あげるからね



いやーやめてーっ!!

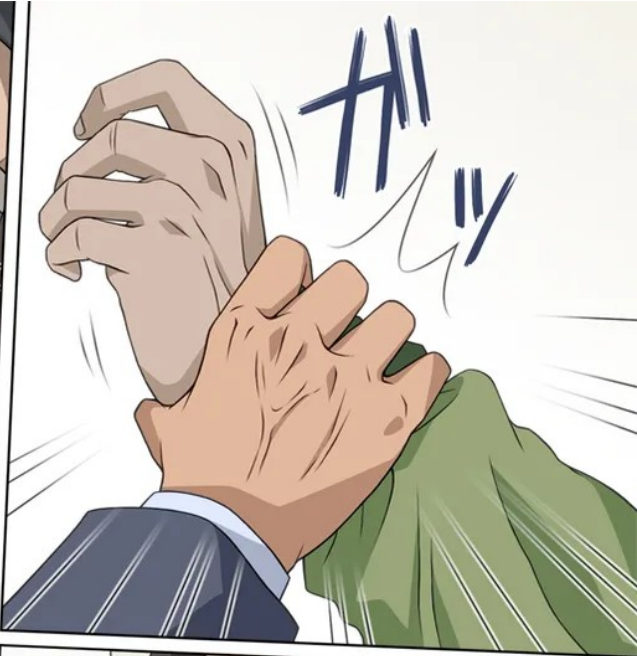
恐怖で声にならない私の
叫びは誰にも届かず...

徐々に脱がされていく下着を
必死に押さえようとしても
男のひとの力に敵うはずなくて...

怖くて：悔しくて
すごく恥ずかしくて...

どうにもならない状況に
ただ涙が溢れるばかりで...

下着がゆつくりと膝まで下ろされると
私は恐怖と恥ずかしさで固く目を閉じる
ことしかできませんでした...





染まり愛

ソマリアイ



今日は一人で帰らず
誰かに迎えに来て
もらった方がいいと
思うんだが…

親御さんは自宅に
いらつしやるのか？

いえ 両親は共働きで
この時間はまだ…

ふむ
そうか…

…なあ 野宮

はい？

ひとつ提案
なんだが…

実は 先生の住んでる
マンションが
近くにあつてね

もし嫌じゃなければ
ウチで親御さんを
待つのはどうだ？

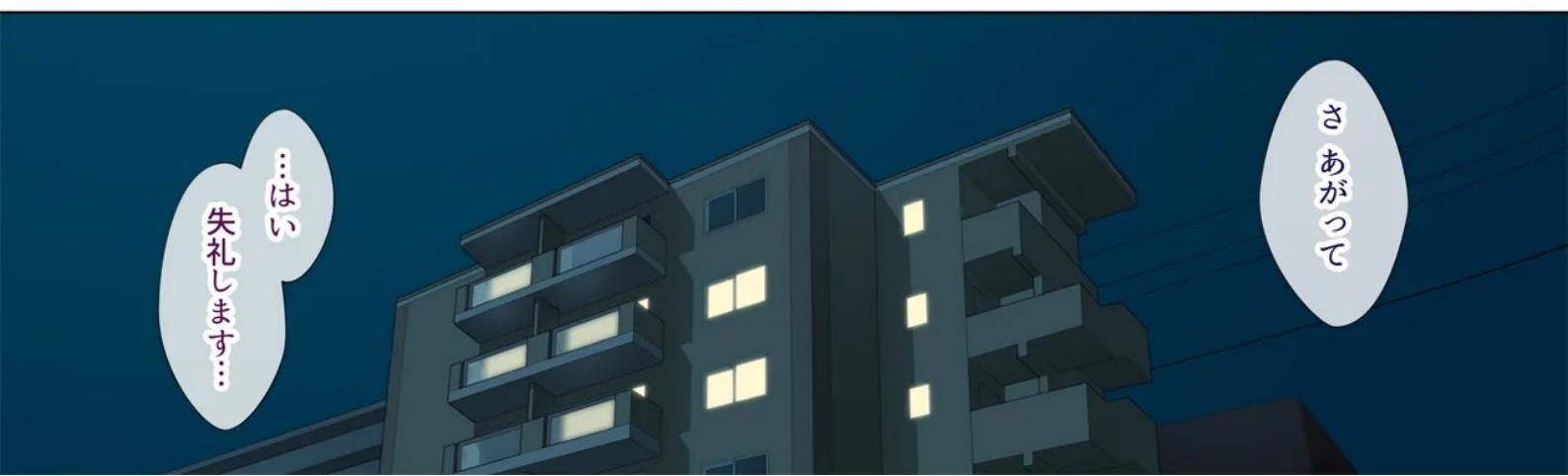
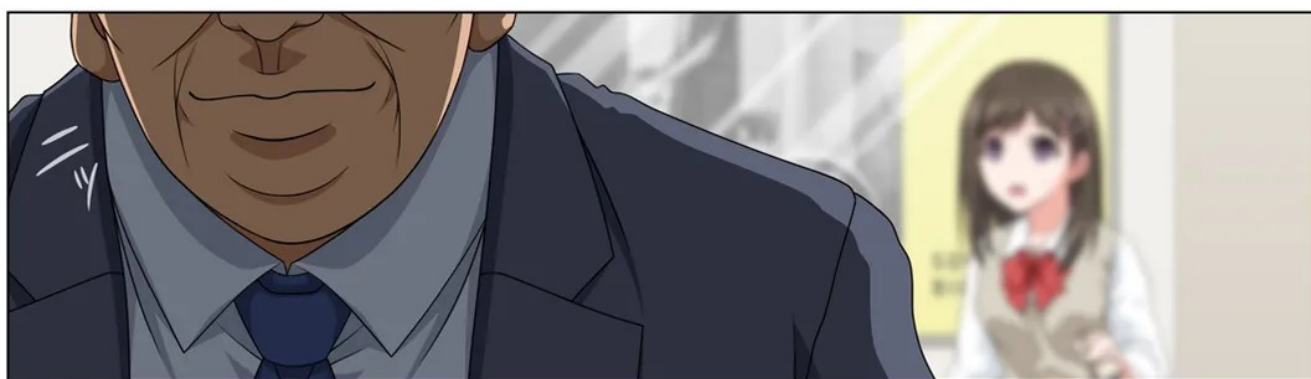
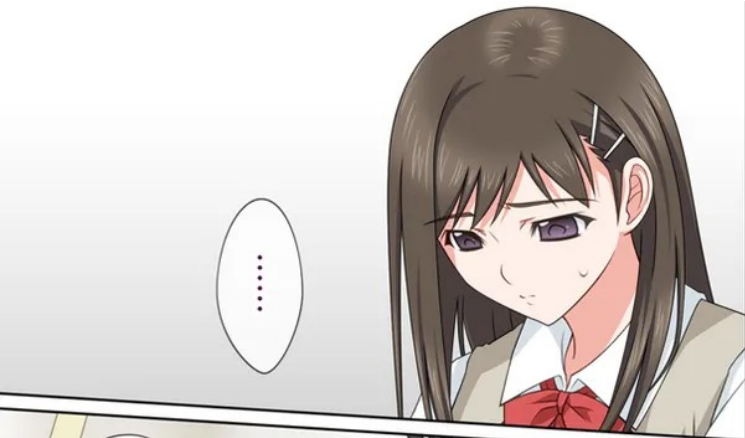
えっ…

先生のご自宅…
ですか…？

ほらさつきあんな
ことがあつたんだ

駅で一人待つのは
心細いだろ？

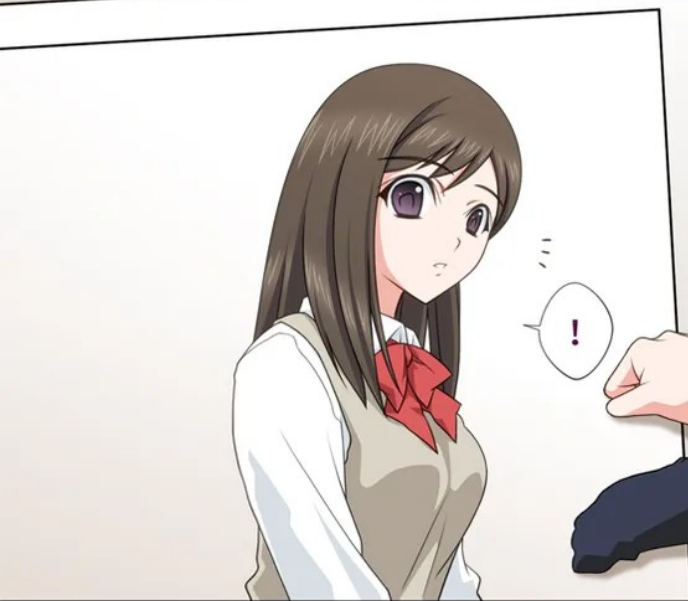
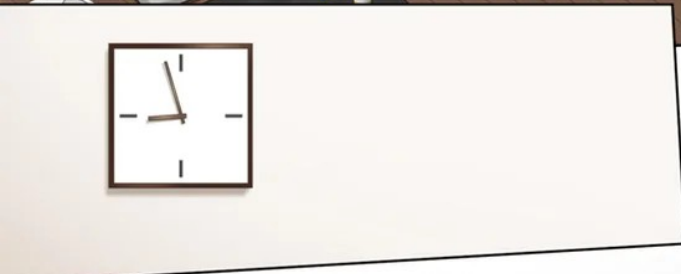
でも……





いま お茶を淹れて
あげるからね

ありがとうございます
ございます



!!

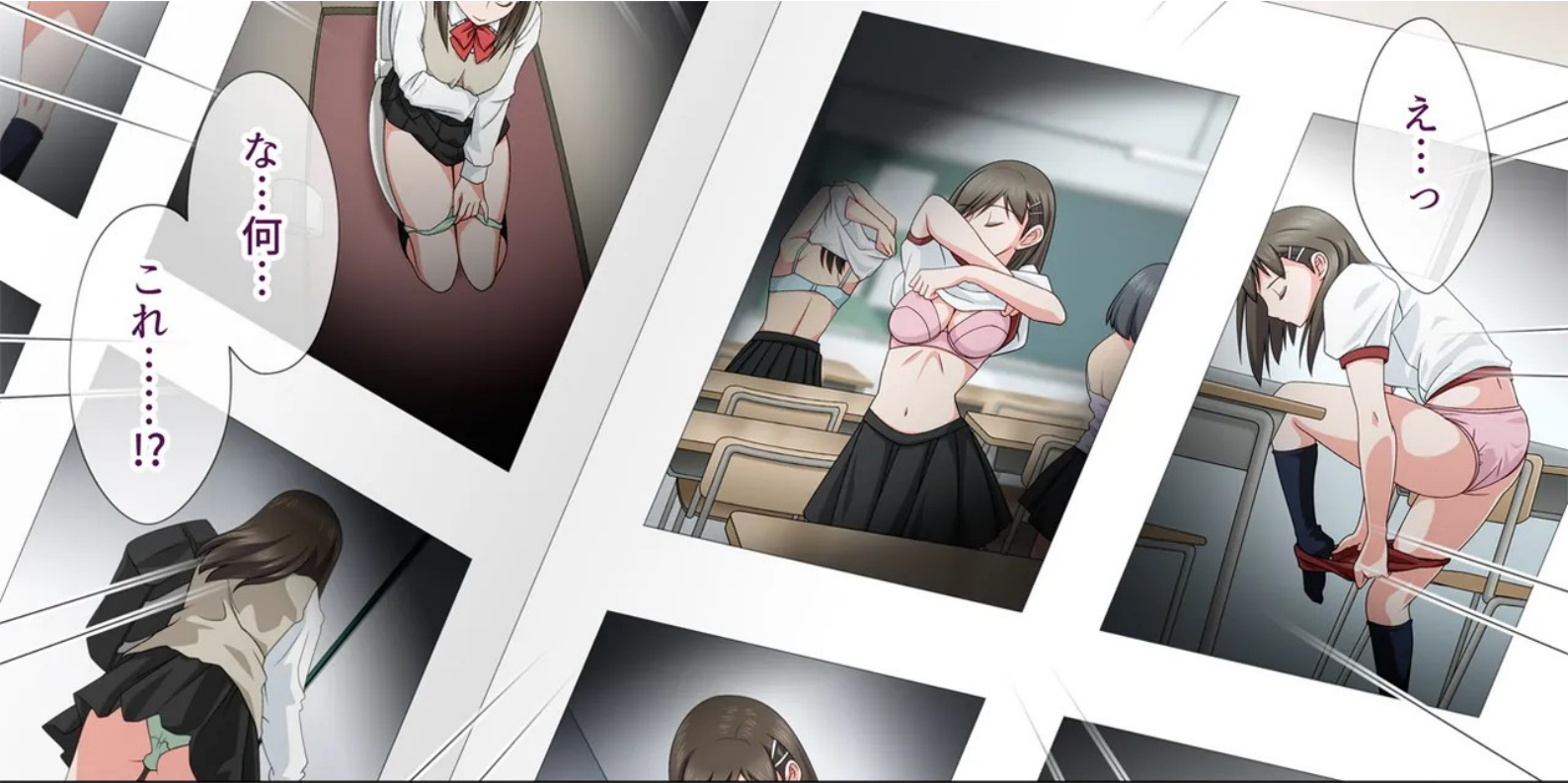
ブク.

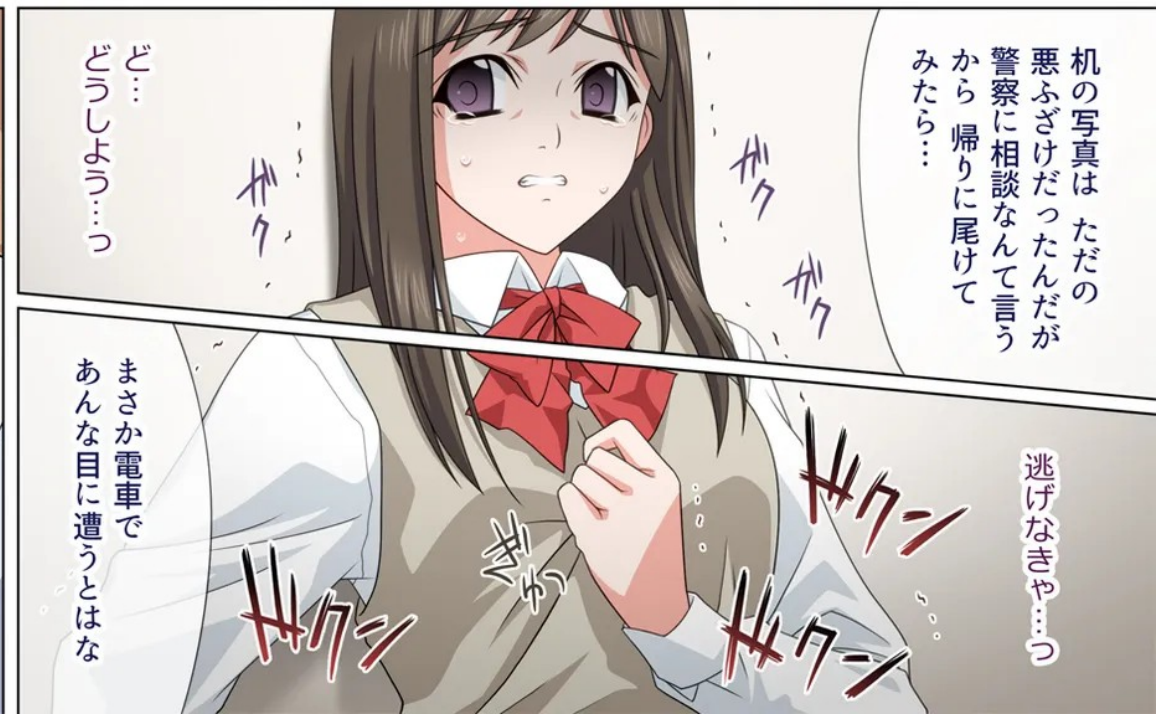
男のひとの部屋…
なんか緊張するな…



学校行事の
写真…かな…?

これって…
私のフォトアルバム…?







俺が居合わせたから
助かったんだぞ？

それにあんな目に遭った
にも関わらず 俺の部屋に
上がり込んだんだ

野宮だって 本当は
俺に抱かれるのを
期待してたんだろう？



先生 ちゃんと見てたんだぞ
痴漢にいやらしい事されて
感じていたのを！

まったく あんな場所で
されて興奮してたのか

や…

ダメ…っ

いや…

逃げられ
ない…!!

学校じゃあ大人しいフリして
あんなにスケベな生徒だった
なんて先生知らなかったぞ



やめて 先生っ

いやああっ!!



なに 心配するな
優しくしてやるから
安心しなさい



だから今度は俺が
担任としてちゃんと
最後までしてやる

電車で 見ず知らずの
あんな奴に犯られるより
よっぽどいいだろ



もうこんなに
硬くさせておつて

んああつ



おまけに乳首の
感度も良好

いや……つ



こんなスケベな
身体をさせてるから
痴漢に狙われるんだぞ

は……あつ

もや……やめ……つ



痛……つ

ほお制服の上から
ある程度の大きさは
予想していたが……

まさかこんなにも
大きく実つていた
とはな



バツ!!



う……くつ

これでもう先生の
モノだからな

ほらどうだ
烙印を押して
やったぞ



嫌あつ!!

うおっ!?



いっ...

!!

スッ

次はこつちを
可愛がつて...

どれ...



こらっ
暴れるんじゃない!

いやっ!
放してっ

嫌あつ!!



なあに
心配するな

すぐに泣くほど
気持ちよくして
やるから...

やめてっ
先生!

せんせえ!!

大人しくしてれば
すぐに済むからな

くっ...くっ

さあ
尻を上げて
もっとよく
見せなさいっ

きやつ！

これはこれは…
ずいぶん濡れてる
じゃないか

パンティに
スケベな糸まで
引かせて…

乳首を弄られただけで
もうお漏らしか？

ああまり…
見ないで……

ほおっ！
処女膜はきれいに
残ってるな

やはり野宮は
初モノだったか!!

やつ…

色素沈着もなく
綺麗なピンク色…と

それに…

ほのかにチーズ臭が
するが…キツくはないな
清潔でよろしい！

いやあつ!!

カアッ

すーはー

すーはー





力を抜け
奥まで一気に
挿れてやるっ

ダメっ 先生
ややめ——

いっ!!

いやあああああっ

あ...ああ...

くううっ...これが
野宮の処女マンコかつ

おとなしい性格の割に
ギユウギユウとすごい
締め付けだな...っ

はっ

っかは...っ

はあ



うくつ

ひつ

い...や

こ...んな...

くつ

くつ
少し動くぞ!

い...痛つ

よおくほぐして
すぐに気持ち良く
してやるからな!

ひぎつ

いや...っ
う...
動か...な...でっ

んくう

うくつ

初めてだから痛むよな
かわいいそうに...

んんっ

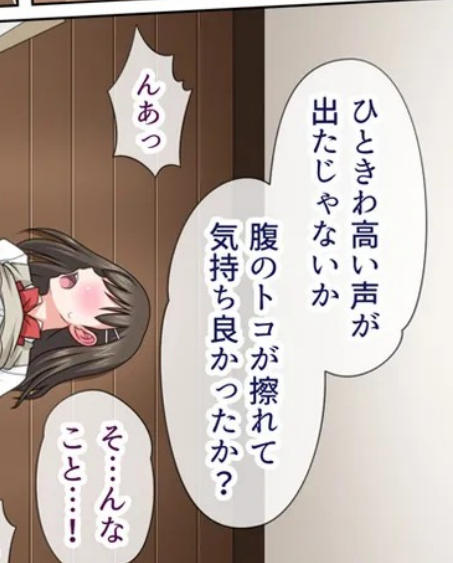
つくう

う...ぐつ

ぶるん

すちゅ

すちゅ





野宮はキスも
初めてだったか

気持ちよさそうな
吐息を漏らしてた
じゃないか



俺が何もかも
教えてやる!!

んあつ

こんな
エロい身体を
させてるのに
男を全く知ら
ないとはな

やつ

ああんっ



うつく...

感度の方は
良いじゃないか

うう...っ

学校じゃ
大人しいフリして
家でオナニーばかり
してるんじゃないのか?

そそんな...こと
して...な...っ

はあっ

んあつ

それじゃあ根っからの
スケベ体質ってことか
先生シヨックだぞ

んああっ

はあっ

まったくそんな
スケベな野宮には…

この吸われたがりの
デカ乳輪も なんて
下品なんだっ

膣奥に一滴残らず
出してやるっ!!

そろそろ
イクぞっ!

このスケベなマンコに
たっぷり吐き出して
やるからなっ!!

だだめっ
中はっ!

いいな
野宮っ!?

お願い 先生っ
中はダメっ!!

出すぞおっ!!

やめてっ
いやあっ!!





ふう…

22:34 9/7 PM

野宮の処女マンコ
すごく良かったぞ

はっ

はっ

やはり好きな女との
生中出しセックスは
最高だな…っ

せっかくだから
野宮の処女喪失記念に
写真に残しておこうな

ゴポッ

いいか今日のことは
誰にも喋るなよ？

クラスの皆に野宮の
こんな恥ずかしい
写真を見られたくは
ないだろ？

!!

先生の言ってること
分かるよな…？

これは二人だけの
秘密だ…いいな？

……っ

さてと…
そういえば 明日は
学校が休みだったな

今日はもう遅いし
このまま泊まって
いきなさい

もしもし
お母さん…?

…うん
香菜だけど…

今日…友達のお…うちに…

はあ

と…泊まって…
く…から…っ

はあ

ううっ
で…出るっ!

うん…大…丈夫
な…でも…
ないよ…っ

出すぞおおっ!!





染まり愛

ソマリアイ

あれから――

私の学校生活は
一変しました

数日前に先生にされたこと……
もし誰かに回外したら

あの時のひどい写真を
クラスメイトに見せられる……

保健室

そんな脅しに
私は逆らうことが出来ず

今日も放課後に人目の
つかない場所に呼び出されては

先生のいやらしい行為を
受け入れるしかありませんでした



もう...やめて下さい
こんなこと.....っ

けほ

けあ
けあ

けほ

けほ

先日のことは誰にも
言いませんから...



何言ってる
こないだまで
男を知らなかった
可愛い教え子に

こうしてわざわざ
放課後に授業をして
やってるんだ

野宮だって
あんな写真
誰にも見られたく
ないだろ?



んぐっ!

イヤっ
こんなの!



保健の授業じゃ
フェラなんて教えん
からな...

苦しい!それに
先生のおちんちんの
ニオイが

んむっ

んっ

回いつぱいに
広がって...気持ち悪い...

先生が担任として
これからも特別授業を
行ってあげるからね



ん...ふう

んっ

んむ

口の中で先生のが
ビクビクする度に

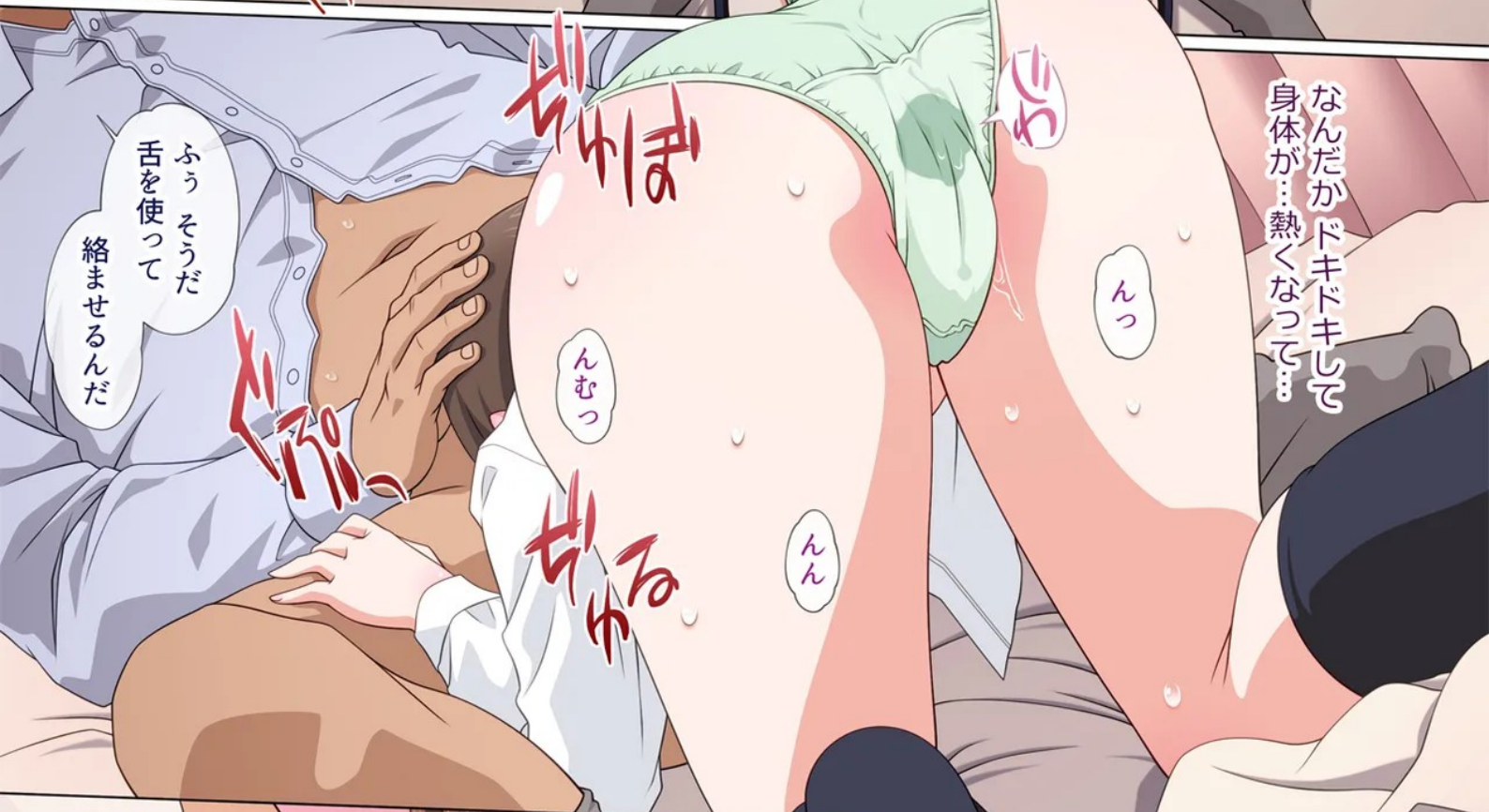
くれぐれも歯を
立てるなよ？

早く終わらせないと...
...だけど...



どうだ 野宮
先生のチンポの
味は？ ん？

こんなこと...



なんだかドキドキして
身体が...熱くなつて...

んっ

んむっ

んん

ふう そうだ
舌を使って

絡ませるんだ



！

よしいいぞ
今ご褒美をやる
からな







激しく
されたら...っ

ひぐうつ♡

壊れちゃうっ!!



野宮はどうだ!?

このチンポが待ち遠し
かったんじゃないか?

そ...んな...
こと...っ

あつ...
ありま...せ...



先生な 授業中ずつと
このスケベな身体を

可愛がってやりたくて
仕方がなかったんだ

は...ああつ



膣壁がチンポにねっとり
吸い付いて放そうと
しないじゃないかっ

あんっ

くうつ

んああつ

まったく素直なのは
下のスケベな口だけか!



くっ そろそろ
出そうだっ

中に欲しいか!?

そんなコト...
どうだって.....っ

な...中は.....
だ...めえ.....♥

これ以上されたら
おかしく...なっちゃう.....



それじゃさつきから
素直にならない
けしからん口の方に
たっぷり出してやる

だから...早く...っ

罰として
全部飲みなさい!!

いやあ...ああっ♥

早く
終わって...!!



ふう…

まさか本当に全部
飲み干すとはな

やれば出来る
じゃないか
エラかったぞ

…それにしても
盛大にションベン
漏らしたな

ニオイもキツいし
こりやしばらく保健室の
ベッドは使えんな

体育倉庫

それから先生との
いやらしい行為は
毎日のように続きました

放課後楽しみに
していなさい

まなんにせよ
明日もたつぷりと
可愛がってやる…

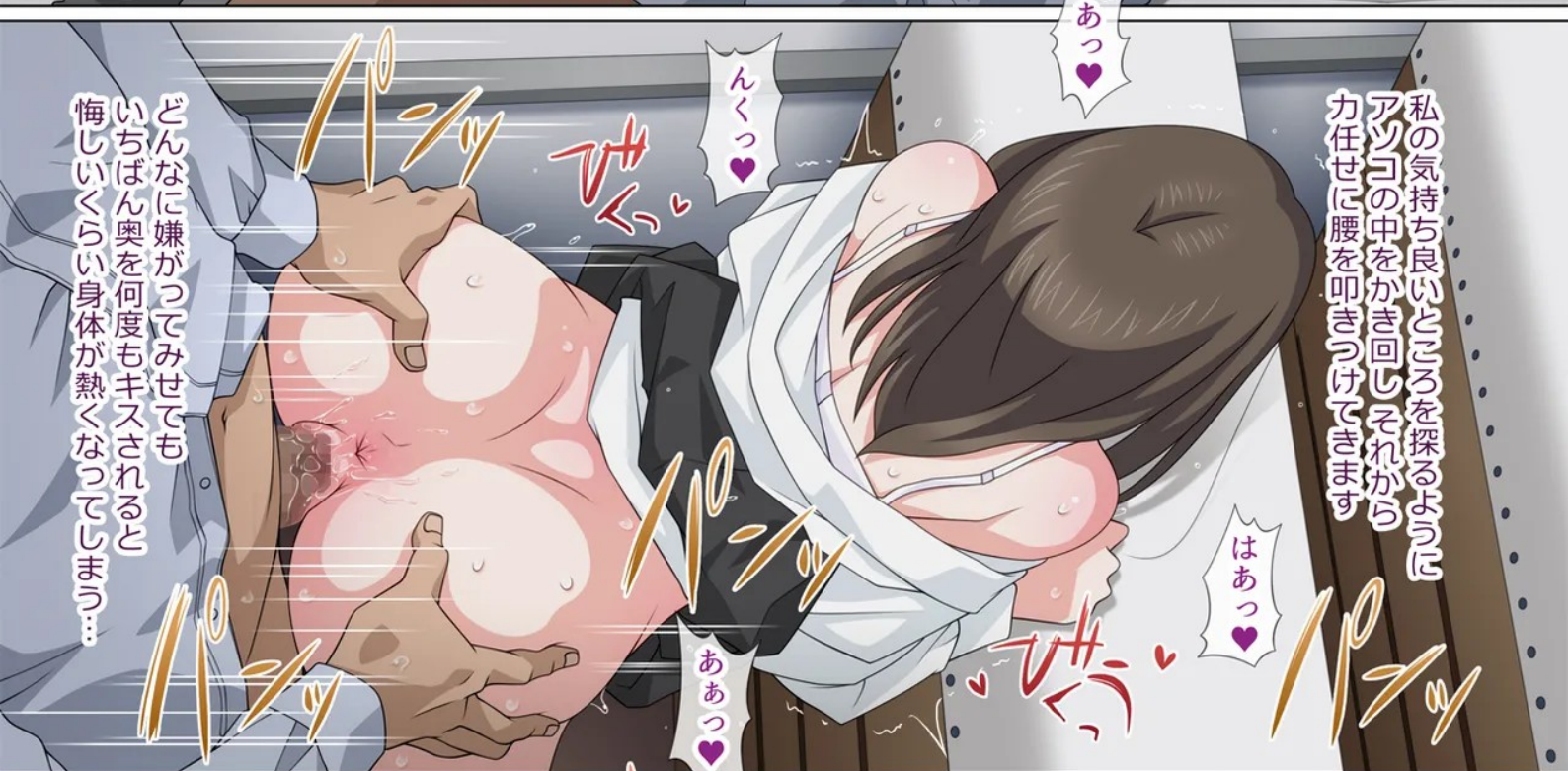
まるで恋人同士がするような
お互いを舐め合う行為！
すぐ恥ずかしくて
すぐにもやめたかったけど

私のアソコの中や外を舐める
先生の舌がかいがすぐくエッチで
私も先生のモノから
回を離せずにいきました



私の気持ち良いところを探るように
アソコの中をかき回しそれから
力任せに腰を叩きつけてきます

どんなに嫌がつてみせても
いちばん奥を何度もキスされると
悔しいくらい身体が熱くなってしまう！



好きでもない男性に
こんなことされて嫌なはずなのに！

そんな思いをまるで溶かすように
先生の熱い精液を浴びせられたとき
自分でも信じられないほど
胸が高鳴ってしまったんです……

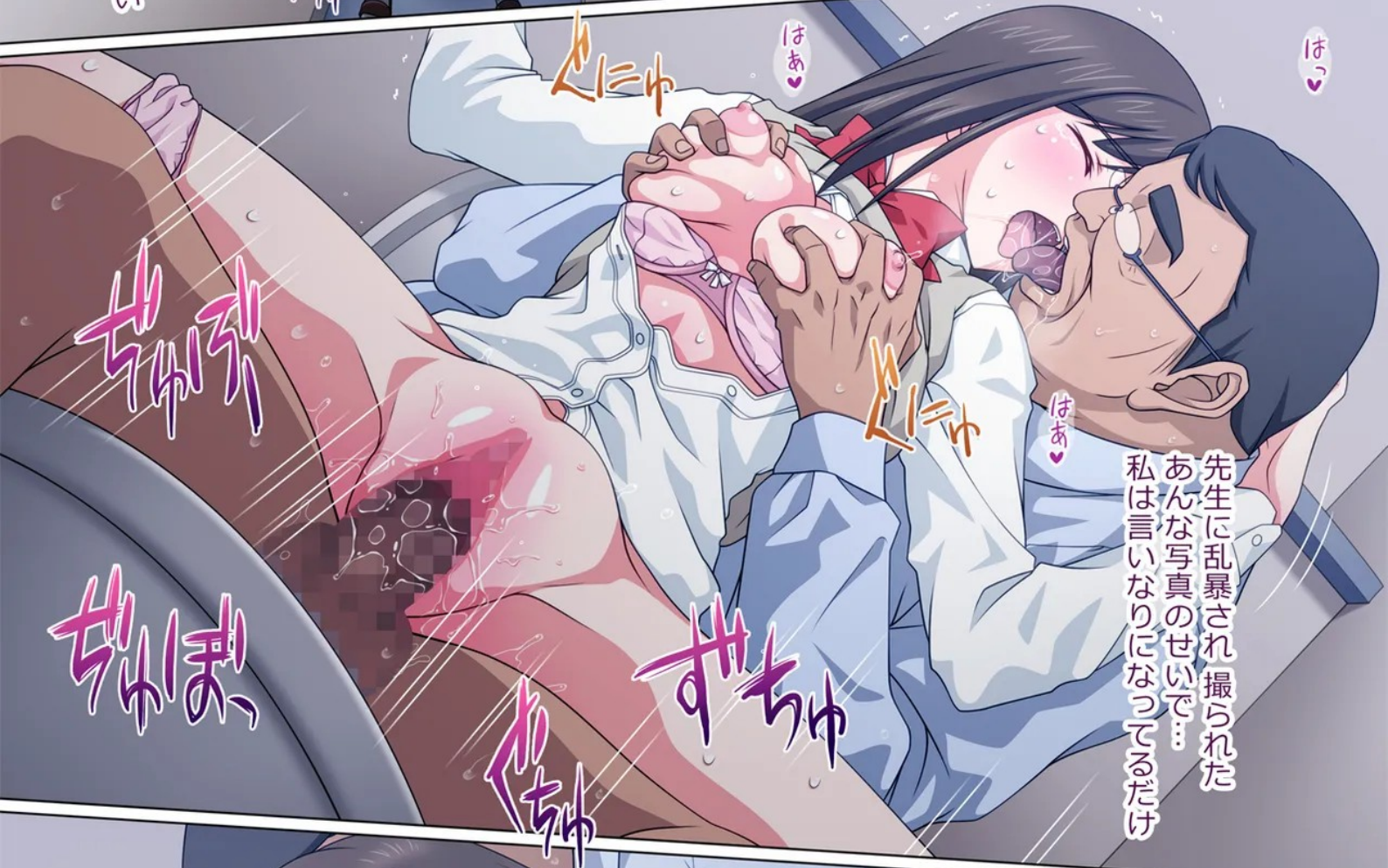




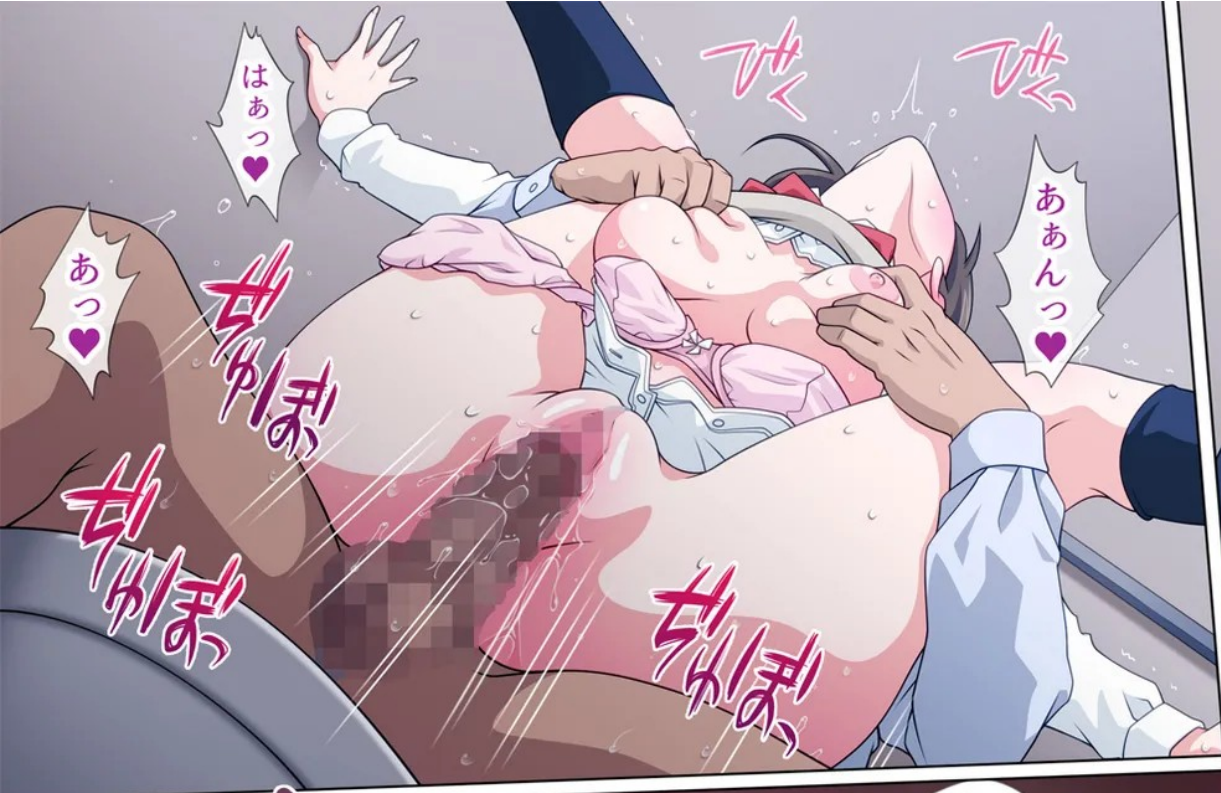
こんなこと決して
受け入れちゃいけない

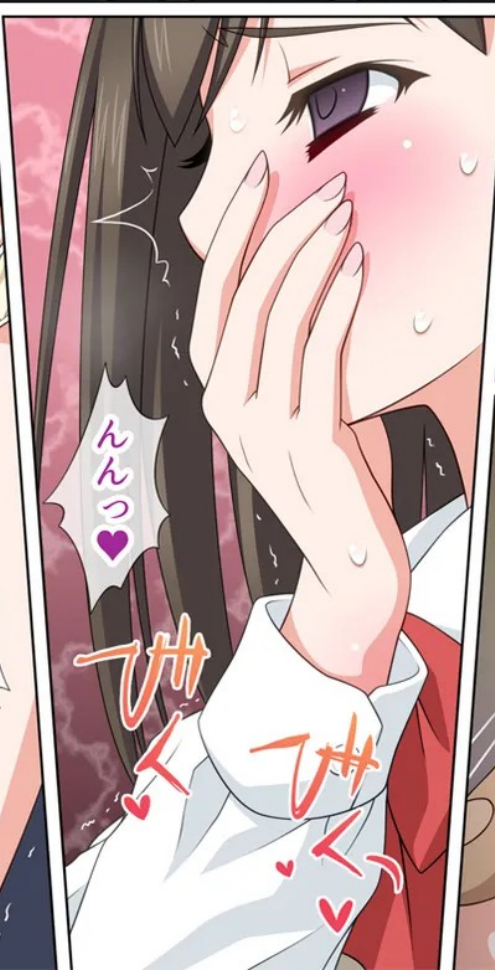
でも...だめ...

先生に乱暴され撮られた
あんな写真のせいで...
私は言いなりになってるだけ



頭では分かっている
こんなこと...早くやめたい
やめなくちゃいけないって...









ほら分かるか?

先生の大きく
なってるだろ?

野宮のこと
もっと気持ち良く
してやりたいくて

こんなに
硬くなってるんだ

……っ



好きな方
を選びなさい

俺のトコに泊まって
いてもいい……

このまま真っ直ぐ
帰宅してもいいが



……そういや明日は
学校が休みだったな



ああ♡

あん♡

んあ♡

はあ♡

ん♡

もっ♡
いつ♡
イキ…そ♡

あ♡

っん♡
くう♡

だ…だめ♡
え♡

先生はまだだ
我慢しなさい♡

イク…♡
ツ♡
イクううう♡
ツ♡



この数日で
すっかりスケベな
身体になったな

やれやれ…
もうイッたのか



んああっ!?

感心せんぞ!

俺より先に
イッたのは…

だけどな
野宮…



だめっ いや…
や…やめてえ…っ!!

お…おし…っこ…
で…出ちゃ…っ!!



イッたばかりで
マンコが敏感に
なってるだろ?

いっっ
そ…そ…っ

せん…せ
や…やめっ

はあ



で出ちゃうう!!
んあああつ♡♡♡

ひあああつ♡
んあはあああつ♡♡

ああ…っ!
んああ…はあ♡



ひい…っ
や…あああつ♡



こりやすごいな
いやらしい汁で
こんなに汚して…

先週まで男を
知らなかったとは
思えんぐらいに—

スケベ丸出しの
顔つきに変わった
じゃないか



はあ



野宮は本当に
可愛いやつだな
それに…
スケベ汁で化粧した
顔もすごく綺麗だ

ふあ…♡

今度は俺より
先にイクんじゃないぞ？

つく♡



ひいつ♡

そんなコト
言われたって！



こんな大きいので
されたらー

いっ♡

んあああ♡

無理いッ！！



お...おく...つ
当たって...♡

くうっ 野宮のマンコ
中でうごめいて...!

せ...せんせ...っ
は...激しっ♡

それにすごく熱くて
チンポが溶けそうだった

はっ
...くう♡

あうっ♡

つくう♡

あうっ♡

んむうっ!?

あうっ♡

はあ♡

はっ♡

ああつくそつ
このスケベなマンコが
気持ち良すぎて
腰が止まらんっ!!

ああっ♡

野宮は
どうだっ

んあっ♡

先生のチンポ
気持ち良いか!?

は...はいっ♡
せ...んせ...の...すごく
気持ちいい...っです...♡

はあ♡
そうかつ
ようやく素直に
なったな!



イクうっツ



んあああつ♡!!
ああーツツ♡♡♡♡♡



ふう……

野宮のマンコ
最高に良かったぞ

トロッ
ッ

けどなそのせいで
全然収まらないんだ

——ってなんだ
イキ過ぎて気を
失ってるのか？

……まあいい
夜は長いからな
たっぷり時間はある

朝まで たくさん
気持ち良くなるうな？

はー♡
はー♡

はー♡
はー♡

はー♡
はー♡

はー♡
はー♡

はー♡
はー♡

はー♡
はー♡

はー♡
はー♡

はー♡
はー♡

はー♡
はー♡



それから私と先生は
何度も愛し合いました

はあん♡

うつく♡

んくう♡

んああ♡

お腹の中に吐き
出された大量の精液は

せ…んせつ
も…もうっ♡

あっ♡

オチンチンで乱暴に
掻き出されては
何度も膣奥にキスをされ…

あん♡
ああっだめえ♡

イツ…くう♡
っあああーツツ♡♡♡♡

あ…はっ♡

心と身体が先生の色に
染められていく…
私は薄れていく意識の中で
そんな悦びを知ってしまったんです…



染まり愛

ソマリアイ



えっ
無言電話…？



うん 確か
二か月くらい
前だっけ

ほら 夜中に変な電話が
何度かあるって
言ってたじゃない？



香菜 それからずっと
元気なさそうだったし
聞くに聞けなかった
んだけど…

もう解決したの
かなって

……



あのときなんだから
取り乱してた感じ
だったし……

ま 最近の香菜
また前みたいに

明るい顔してるから
いいんだけどさ

結構本気で
心配してたん
だからね



何かあったら
担任に相談とか……

?

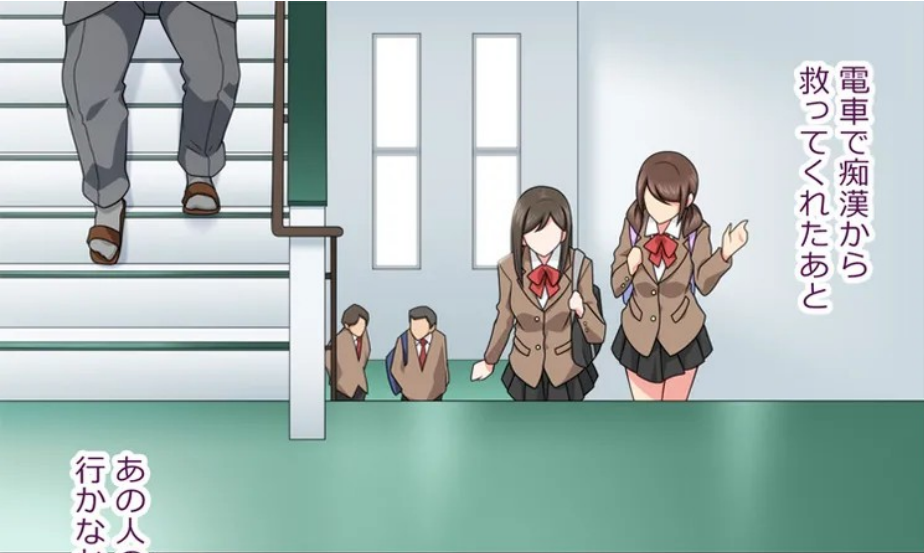
……香菜?



……うん
何でもない

あの無言電話
あれから
すぐに止んで……

ごめんね
心配かけちゃって



電車で痴漢から
救ってくれたあと

あの人の自宅に付いて
行かなかったら…



もしあの日の放課後
遅くまで残らず友だちと
一緒に下校していたら…



後悔しても
仕方ないことくらい
分かってる

別の色に
染まってしまった
私の日常は



だってこうして
すれ違うだけで



どんなに修復しようとしても
決して元には戻らなくて…

自分でもどうしようもないくらい
熱くなっています...

今日もあの人の色に染まりたくて
下着に涙をこぼしてしまっから！

そして熱く火照った身体を
鎮める方法はひとつしかなくて...



もうすぐ
一時限目が始まるぞ
なにも朝からせんでも

昼休みまで
待てないのか？

んっ♡

んむっ♡

んふっ♡

—校内に鳴り響いた
何回目かのチャイム—

それが何時限目の…
そもそも始業なのか
終業の合図なのかさえ
もう私たちには分からなくな
っていました

「はぁ♡ はぁ♡ はぁ…っ♡」

先生が二度目の膣内射精を終え
私の中から引き抜こうとしたときです

トイレの外が騒がしくなった気がして…
きつとほかの先生方が私たちを
探しに来たのだろうと思いました

「おいっ A組の野宮さんはいるか？」
「武田先生も 一緒なんですかっ？」

だけど…そんなことはどうでもよくて…

私の中でまたムクムクと大きさを
取り戻した先生のモノが
まるで愛の刻印を残すように
いちばん奥に何度もキスをするんです…

「あっ♡ んくう♡ ああんっ♡
先生 気持ちいい♡ もつと…してっ♡♡」

「!? おいっ な…何してる!?」
「早くドアを開けなさい! 開けないか!!」

ドンドンドンドンッ!
ドンドンドンドンッ!!

たぶんこれで最後…
だから—

「もつと突いてえ♡ 先生っ♡
もつと♡ もつとおおっ♡♡♡」

だから もっと色濃く染めてほしい…
これからもずっと
忘れられないように…

